

3	1	(数学I) ○数と式	1. 式の計算 ①整式 ②整式の加法・減法・乗法 ③因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・宿題などの提出物 ・授業態度をもとに総合的に評価
	2		2. 実数 ①実数 ②根号を含む式の計算	
	3		※習熟度別は基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (物理・地学)	3	3年1～3組

使用教科書	副教材
未来へひろがるサイエンス3 (啓林館)	新中学問題集 3年

1. 学習の目標

様々な現象に疑問を持ち、実験から原理を学び、論理的に現象を理解することができる。
授業での知識を問題演習により整理し定着する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
授業に積極的に取り組んでいる。提出物を提出している。	物理的な思考を身に付ける	表・グラフの整理、数値を用いた問題を解くことができる	現象を論理的に説明できる

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	運動とエネルギー	・力のつり合い (動画) ・物体の運動 (動画)	定期試験 (中間・期末) 授業態度 (意欲・態度・発言など) をもとに総合的に評価する。 動画配信授業の内容は、視聴状況と動画をもとに作成した穴埋めプリントおよび休校中の課題の状況をみて評価する。
	5		・仕事とエネルギー (動画) 仕事 (動画) 運動エネルギー (動画)	
	6		位置エネルギー 力学的エネルギー	
	7		・多様なエネルギーとその移り替わり ・エネルギー資源とその利用	
2	9	宇宙の中の地球	・地球とその外側の世界 ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方	
	10			
	11		特進選抜試験対策 ・プリント演習 ・小テスト	
	12			
3	1	特進選抜試験対策	・プリント演習 ・小テスト	
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (化学・生物)	2. 5	3年1～3組

使用教科書	副教材
未来へひろがる サイエンス 3年 啓林館	最新理科便覧(浜島書店) 新中学問題集 理科 3年(教育開発出版)

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・化学的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。 ・生物的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、動物の生活やからだのつくりの多様性と共通性を理解し、動物を探究する能力と態度を育てるとともに動物に対する興味・関心を高めることにより、動物に対する愛情を深め、生命を尊重する態度を育てる。
--

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
科学的な事柄・現象に関心や探究心を持ち 意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	科学的な事柄・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行い、事象を実証的・論理的に考察することにより問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	科学的な事柄・現象に関する観察・実験の技能を習得し、科学的に探究する方法を身に付け、過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して科学的な事柄・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	生物の成長	生物の細胞の成長と分裂の仕組みを学習する。	定期試験の点数と提出物・小テスト・授業態度を考慮して評価する
	5	生物のふえ方と遺伝	植物の増え方を細胞の視点から学習する。 動物の増え方を細胞の視点から学習する。 細胞の染色体の仕組みから分裂と遺伝について学習する。	
		6	自然と人間 自然界のつり合い	
	7	人間と環境 自然と人間のかかわり	身近な自然環境を調査、学習する。 自然と人間との関わりについて学習する。	
2	9	化学変化とイオン	水溶液に電気が流れる仕組みをイオン・原子を学習して理解する。	定期試験の点数と提出物・小テスト・授業態度を考慮して評価する
	10	水溶液とイオン	化学変化によりどのように物質を取り出すのか酸化・還元を例にして学習する。	
	11	酸・アルカリと塩	化学変化により電気を取り出す仕組みについて学習する。	
	12	1年次の総復習	特進選抜試験に向け、1年次に学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	
3	1	2年次の総復習	特進選抜試験に向け、2年次に学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	定期試験の点数と提出物・小テスト・授業態度を考慮して評価する
	2	中学理科の総復習	特進選抜試験に向け、3年間の生物・化学分野の高校入試を踏まえた演習を行う。	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
音楽	音楽	1	3年1～3組

使用教科書	副教材
教育芸術社 中学生の音楽 2・3下 教育芸術社 中学生の器楽	なし

1. 学習の目標

音楽の基礎的なことを学習すると共に、歌唱や器楽等の楽しさを味わう。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
興味・関心を持ち、意欲的、積極的に参加している。	歌詞の内容や楽曲の背景を感じ取り、どのように表現するか考える。	自己のイメージを表現するための技能を身につける。	感性を働かせて、音楽の要素を知覚し、音楽の良さや美しさを感じ取る。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	歌唱練習	「花」の音取りを自宅で行う。(動画配信)	期末試験、提出物、授業中の態度で評価する。
	5	歌唱 合唱練習	「花」について学習する。(動画配信) 「旅立ちの日に」のパート練習を自宅で行う。(動画配信)	
	6	音楽鑑賞 音楽史	交響詩「モルダウ」の鑑賞を行う。 各時代の作曲家について学習する。	
	7	期末試験		
2	9	ソルフェージュ 器楽練習	音の聴き取り練習を行う。 アルトリコーダーの練習を行う。	実技試験、期末試験、提出物、授業中の態度で評価する。
	10	ソルフェージュ 器楽練習	音の聴き取り練習を行う。 アルトリコーダーの練習を行う。	
	11	実技試験 DVD鑑賞 合唱練習	アルトリコーダーの試験を行う。 ミュージカルの鑑賞を行う。 合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	
	12	期末試験		

3	1	合唱練習	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	実技試験、提出物、授業中の態度で評価する。
	2	合唱練習 実技試験	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。 合唱コンクール課題曲の歌唱試験を行う。	
	3	実技試験	合唱コンクール課題曲の歌唱試験を行う。 1年間のまとめ	

※ 上記の内容は、進捗によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
美術	美術	1	3年1～3組

使用教科書	副教材
美術2.3 (光村図書)	なし

1. 学習の目標

主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を高める。対象を深く見つけ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的総合的な考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
主体的に表現、鑑賞に取り組む姿勢を重視する。	制作の過程を通して試行錯誤創意工夫を積極的に行う。	表現の技能を身につけ自分らしさを創意工夫して創造的に表す。	美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさを理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	絵画・素描 点描で人物を描く	点描技法を用いて人物画を描く。対象を点描で描くことで素描の表現技法の技能向上をめざす。	制作に取り組む姿勢 作品の提出
	5			
	6	鑑賞	点描を用いた作品の鑑賞	学期末テスト
	7			
2	9	デザイン・工作 パッケージをデザインする	自分で考えた商品を含むパッケージのデザインを考え、実際に厚紙を用いて制作を行う。手に取ってもらいたい相手のことや、どんなパッケージなら目を引きやすいかを考えながらデザインをする。	制作に取り組む姿勢 作品の提出
	10			
	11	鑑賞	ポスター作品の鑑賞	学期末テスト
	12			
3	1	デザイン ピクトグラムを作る	ひと目でみて理解できる絵文字をデザインする。伝えたい内容を、簡潔に相手に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや親しみやすさを考え、表現の構想を練る。	制作に取り組む姿勢 作品の提出
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合があります。

※ 4月、5月は動画配信で授業を行います。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健体育	3	3年・全クラス

使用教科書	副教材
保健体育 (大修館書店)	健康手帳 (神奈川県学校保健連合会)

1. 学習の目標

<p>○自分の体力の実態を知り、仲間と協力して積極的・合理的に体力の向上に取り組む姿勢を身につける。</p> <p>○各種の特性を知り、ルールやマナーを理解して安全に留意して運動に取り組むことができる。</p> <p>○身近な健康問題の学習を、自らの健康問題として課題をとらえ解決していく力をつける。</p>
--

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
積極的に体力を高め、仲間と協力して公正な態度で運動に親しむことができる。	自己の課題に応じた練習や練習方法を考え、課題解決のため、計画的に学習することができる。	各種の基本的な技能や表現を身につけ、自己の能力に応じ、高めることができる。	自己の能力や健康状態、学習環境、各種目の特性を理解し、健康や安全に留意し、運動できる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	動画配信	体づくり運動、自宅のできるエクササイズなどの動画配信	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験、正確性 協調性 ・記録測定 ・定期試験 ・授業態度 ・提出物(ノート)等
	5			
	6	○体づくり運動 ・集団行動	・整列、行進、方向転換、列の増減、人員点呼、ラジオ体操	
	7	・新体力テスト	・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、持久走、50m走、ハンドボール投げ	
		○保健 ・健康な生活と病気の予防	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康を左右するもの 2. 運動と健康 3. 食事と健康 4. 休養・睡眠と健康 5. 生活習慣病とその予防 6. 喫煙と健康 7. 飲酒と健康 8. 薬物乱用と健康 	

2	9	(1種目選択制) ○陸上競技 ハードル ○器械体操 ・マット、跳び箱 ○ダンス ・創作ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードリングドリル、ハードリング、助走、記録会 ・前転、後転（開脚、伸膝）、倒立前転、側方倒立回転 ・開脚とび、閉脚とび、台上前転、発展技、発表会 ・イメージ創作、モチーフ作り、グループ創作、発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験、記録演技、表現の発表 ・基本技術の習得 <p style="text-align: right;">等</p>
	10	○球技Ⅱ（選択制） ・バスケットボール ・ハンドボール ・卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・パス、シュート、ドリブル、簡易ゲーム、試合 ・パス、シュート、ドリブル、簡易ゲーム、試合 ・ストローク、サービス、スマッシュ、試合 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験、基本技術の習得 ・ルールの理解、試合での活躍 <p style="text-align: right;">等</p>
	11	○保健 ・健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> 9. 感染症と病原体 10. 感染症の予防 11. 性感染症の予防 12. エイズの予防 13. 医薬品の正しい使い方 14. 医療・保健機関とその利用 15. 個人の健康を守る社会の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業態度 ・提出物（ノート） <p style="text-align: right;">等</p>
	12			
3	1	○陸上競技 ・長距離走	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド周回コース ・記録測定 ・マラソン大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・記録、記録の向上 ・大会への参加、順位 <p style="text-align: right;">等</p>
	2	○武道（選択制） ・剣道 ・柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の復習（礼法、足さばき、素振り、空間打突（応用）、竹刀で受ける打ち込み、防具の着脱） ・防具をつけての打突と受け方（基本打突） ・約束稽古 ・2年次の復習（礼法、受け身、寝技、体さばき等） ・受け身、足技、腰技、手技 ・約束乱取 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験、基本技術習得 <p style="text-align: right;">等</p>
	3	○体育理論 ・文化としてのスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 1. 生活を豊かにするスポーツ 2. 国際的スポーツ大会の役割 3. 人びとを結ぶスポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業態度 ・提出物（ノート） <p style="text-align: right;">等</p>

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	(家庭分野)	1	3年1組～3組

使用教科書	副教材
新しい技術・家庭 家庭分野 (東京書籍)	なし

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長や生活は、家族やそれにかわる人々に支えられてきたことに気づくことができる。 ・いろいろな販売方法の利点や問題点について理解する。 ・会食について、理解する。
--

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
自分の生活について関心を持ち、充実・向上を目指し、主体的に取り組もうとする実践的な態度を身につける。	さまざまな分野で課題を見いだして、その解決を目指して自分なりに工夫し、創造している。	生活を充実・向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につける。	生活の意義や役割を理解し生活を充実・向上するために必要な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法	
1	4	幼児の生活と家族 ・幼いころを振り返ろう。	自分の幼児期を振り返り、幼いころの夢・エピソードなどをまとめる。(動画配信)	プリント、レポート	
	5	・幼児の心身の発達と生活を考えよう。	幼児の心身の発達の特徴と生活について考える。(動画配信)	プリント、レポート、試験	
	6		幼児の成長を支える家族の役割を考える。		
	7				
2	9	・幼児の生活と遊びを知ろう。	幼児の1日の生活を振り返り、幼児にとっての遊びの意義について考える。 遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。	プリント、作品、試験	
	10	家族・家庭と地域 ・家庭や家族の機能や地域とのかかわりを考えよう。	家族とのかかわりや、これからの自分の家庭生活について考える。		プリント、試験
	11				
	12	・家族関係をよりよくしていこう。	家族関係をよりよくする方法を考える。	プリント、試験	
3	1	わたしたちの消費生活と環境 ・私たちの消費生活	自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費生活を知る。	プリント、試験	
	2	・環境に配慮した消費生活	環境に配慮した消費生活について知る。	プリント、試験	
	3				

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語	6	3年全クラス

使用教科書	副教材
NEW TREASURE English Series Stage2 (Z会) Sunshine English Course 3 (開隆堂)	NEW TREASURE English Series Stage1~2 文法問題集・準拠CD (Z会) キクジユク (アルク) 中学英語まるまるリスニング基礎・標準 (三省堂) 32単元で総復習英語中学まとめ (教育開発出版)

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・NEW TREASURE を活用し、4技能(読む、聞く、書く、話す)を総合的に養う。 ・「キクジユク」を使用して、語彙力の充実を図る。 ・「NEW TREASURE 文法問題集」「32単元で総復習英語中学まとめ」などを利用し、中学英法の総復習を行う。 ・「中学英語まるまるリスニング」を使って、従来のリスニングに多くの時間を割く。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
主体的に授業に参加し、かつ家庭学習も欠かさない。語学学習の基礎を繰り返し行い、努力する姿勢を怠らない。	基本的な文法を理解し、作文や会話表現とのつながりを意識することができる。	音読や英作文を反復して行い、英文を暗記し発話や英作文に活かすことができる。	習得した知識を「読む、書く、聞く、話す」の4技能を用いて理解を深める。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	New Treasure2 Lesson7	①受動態の文 ②受動態の疑問文/by 以外の前置詞 ③SV00/SVOC の受動態	授業態度 提出物 小テスト 定期試験
	5	Lesson8	①名詞の種類 ②不定代名詞 ③再帰代名詞 ※6月までの内容は動画配信やウェブドリルでの実施	
	6	Lesson9	①後置修飾 ②分詞の形容詞的用法	
	7			
2	9	Lesson10 Lesson11	①関係代名詞 主格 ②関係代名詞 目的格 ③関係代名詞 that ①不定詞 形式主語 ②不定詞 V 0 to 動詞原形 ③疑問詞+to 不定詞	授業態度 提出物 小テスト 定期試験
	10	Lesson12 [リスニング Book 基礎] Training1~10 [英語中学まとめ]1~5	①比較の応用 ②間接疑問文 ③付加疑問文 ④感嘆文 導入編・練習編 実践編①	
	11	[リスニング Book 基礎] Training11~30 [英語中学まとめ]6~16	実践編① 実践編②	
	12	Training31~35 [英語中学まとめ]17~18	実践編②	
3	1	[リスニング Book 標準] Training1~20 [英語中学まとめ]19~24	導入編・練習編 実践編①	授業態度 提出物 小テスト 定期試験
	2	[リスニング Book 標準] Training21~40 [英語中学まとめ] 25~32 入試対策テスト	実践編②	
	3		総復習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

※ キクジユクを使い、小テストを行う。

令和2年度 道徳科 シラバス (中学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
道徳	道徳	1	3年全クラス

使用教科書	副教材
光村図書出版「中学道徳 きみがいちばんひかるとき」	なし

1. 学習の目標

<p>よりよい生き方を探る 人間としての生き方を考える視点で自分の学びを確認する。 現実の中で迷ったときは、今までに何を学んできたか、どう考えてきたかを振り返る。</p>

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
自ら積極的に考える姿勢を持てたか。	他人の意見を尊重し、多角的に物事を見て判断するしせいが身についたか。	自分の意見を冷静に、秩序立てて表明できたか。	社会の規範や人としての正しい行いが身についているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1 メダルの向こう側に	困難や失敗を乗り越えて、何かをやり遂げるために大切なことは、何かを考える。	発言内容 聞く姿勢 授業中の態度 ノートの完成度 観点別評価は行わない。
		2 小さな出来事		
	5	3 背番号10	自分と自分を取り巻く人々とは、どのような思いで関わっているのかについて考える。	
4 あの日 生まれた命		命を大切にすることは、どういうことかを考える。 ・東日本大震災について知っていることを出し合う。		
6	6	5 「知らないよ。」	自分で考え、誠実に行動することは、どうして大切なのかを考える ・自分で考え、誠実に行動できているかを振り返る。	
		6 二通の手紙	規則は、何のためにあるのか考える。 ・学校や学級の規則について、どのように考えているかを出し合う。	
		7 がんばれ おまえ		
		8 足袋の季節	人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について考える。 ・これまでに経験した「後悔」について振り返る。	
2	9	9 アイツとオレ	人とわかり合うことは、なぜ必要なのか考える。 ・自分のことを理解してもらっていると思う経験を想起する。	
		10 ぼくの物語 あなたの物語	差別や偏見のない社会にするためには、どのような心を大切にするとよいかを考える。 ・社会に存在する差別や偏見について考え、それについての疑問や考えを出し合う。	
		11 電話番		

2	10	12 根本を究めて —「お茶博士」 辻村みちよ 13 私がピンク色の キャップをかぶ るわけ	社会の一員として、自分からさまざまなことに関わっていくために大切なのは、どんな心なのかを考える。 ・地域清掃活動や社会福祉施設などでの「ボランティア活動」の体験を出し合う。 友達存在について、考える。 ・「友達」とは、どんな関係の相手を指すのか、それぞれの考えを出し合う。
	11	15 礼儀正しさとは 16 一票を投じることの意味	礼儀の意味を考える。 ・教科書90・91ページのマップに自分の考えを書き込み、日常にある「礼儀正しい姿」を振り返る。 よりよい社会を実現するために、大切なことは何かを考えさせる。 ・自分が18歳になったら選挙に行くかどうか、考えを出し合う。
3	1	26 恩讐の彼方に	「寛容の心」とは、どんな心なのかを考える。 ・「寛容」の意味を確認し、誰かを許した経験や許せなかった経験を振り返る。
	2	31 命と向き合う	命の尊さについて考える。 ・小学校から9年間、道徳で「D (19) 生命の尊さ」に関する教材にはどんなものがあったか、印象的な教材を出し合う。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		2 (70時間)	3年全クラス

使用教科書	副教材
なし	

1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	4月・5月は動画配信 国際理解教育 (年35時間)	クラスを2つに分け、英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングを行う。 これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
	9 10 11 12	平和教育 (修学旅行関連 : 35時間) 国際理解教育 (年35時間)	平和や伝統文化について学習し、集団の中での立場や責任を学ぶことを目的として、京都・奈良・広島を4泊5日で巡る。 1. 事前学習 ① レポートの作成 「戦争と平和について」「世界遺産について」のレポートを作成し、修学旅行にむけての意識を高める。 ② DVD鑑賞 見学地の歴史的背景に関するDVDを鑑賞し、知識を深める。 2. 実行委員の発足 ① 目標や規則など、よりよい修学旅行になるよう、自分たちで考え、行動できるようにする。 3. 修学旅行の実施、班別自主行動 ① マナーを守る、集団生活における協調性重んじ、自分の役割を果たすことができるようにする。 ② 班員で協力し、計画通りに行動することができるようにする。 4. 事後学習 ① 修学旅行新聞の作成 クラスを2つに分け、英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングを行う。 これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
3	1 2 3	国際理解教育 (年35時間)	クラスを2つに分け、英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングを行う。 これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。